下水道課

基本項目１　簡素で効率的な行財政運営の推進
重点事項２　財源の確保と経費の節減

No.	取り組み項目		
7	③公共下水道への接続促進		
	現状と課題	公共下水道による汚水整備が完了し、供用開始が告示された区域で浄化槽等により汚水処理をしている場合、下水道に接続し水洗化することが下水道法により義務付けされている。	
	取り組みの内容	下水道供用開始区域における下水道未接続の家屋、事業所に対し、各戸訪問や通知等により接続の促進を行い、水洗化率（接続率）を上げるとともに、下水道使用料の増収を図る。	

現状及び目標		
〈現状〉 平成22年度末水洗化率　93.31％ （供用開始区域世帯数に対する水洗化世帯数の割合） 〈目標〉 水洗化率（戸数を基にした接続率　※平成23年度末の率予測　93.53％） 平成24年度：93.62％／平成25年度：93.71％／平成26年度：93.80％		
主管課	下水道課	期間全体の目標額
関係課	―	２，４００万円の増

スケジュールと状況

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度実績	進捗状況
24年度	スケジュール	目標	戸別訪問による接続の促進	戸別訪問による接続の促進	戸別訪問による接続の促進	戸別訪問及び通知による接続の促進	接続率94.78％（戸別訪問による接続件数は58件）	■ 予定以上 □ 予定どおり □ 遅れ
		実績	・接続率94.07％ 参考：４月から６月末までに、接続により増となった使用料約32万円（〔接続世帯数の増加分約53世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・216件の戸別訪問を行った結果、接続された件数8件	・接続率94.42％ 参考：７月から９月末までに、接続により増となった使用料約26万円（〔接続世帯数の増加分約44世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・177件の戸別訪問を行った結果、接続された件数18件	・接続率94.70％ 参考：10月から12月末までに、接続により増となった使用料約14万円（〔接続世帯数の増加分約24世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・184件の戸別訪問を行った結果、接続された件数26件	・接続率94.78％ 参考：1月から3月末までに、接続により増となった使用料約7万円（〔接続世帯数の増加分約11世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・前期までに戸別訪問を行った結果、接続された件数6件 ・供用開始後1年及び3年を経過する未接続者への通知16件、うち接続0件		
	実施内容		今年度供用開始対象者及び、供用開始済み区域内の未接続者を対象とした戸別訪問による接続の促進	供用開始済み区域内の未接続者を対象とした戸別訪問による接続の促進	供用開始済み区域内の未接続者を対象とした戸別訪問による接続の促進	供用開始済み区域内の未接続者を対象とした戸別訪問による接続の促進。供用開始後１年及び３年を経過する未接続者への通知。（助成金の対象期限）		
	その他取り組み事項等		下水道接続促進啓発事業の実施「せいかつと水環境展」（民間開催）や「産業まつり」での啓発活動					
	次年度に向けた課題		排水設備工事困難未接続者に対する促進の方法（金銭的理由により工事が出来ない、建物の老朽化が原因で積極的に工事に取り組めない）					
	単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		２４１万円の増	（算出根拠） 平成２４年度の接続世帯数の増加分に使用月数及び使用料の平均値として２千円を乗じたもの 【参考：下水道使用料収入額における平成２３年度決算額(531,403,707円)と平成２４年度決算見込額(535,666,455円)との比較では、４２６万円の増】				

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度実績	進捗状況
25年度	スケジュール	目標	戸別訪問による接続の促進	戸別訪問による接続の促進	戸別訪問による接続の促進	戸別訪問による接続の促進	接続率95.21％	■ 予定以上 □ 予定どおり □ 遅れ
			《前年度接続率（94.78％）の維持・向上を目指して取り組むものとする。》					
		実績	・接続率94.81％ 参考：４月から６月末までに、接続により増となった使用料約12万円（〔接続世帯数の増加分約21世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・7件の戸別訪問を行った結果、接続された件数1件	・接続率94.99％ 参考：７月から９月末までに、接続により増となった使用料約18万円（〔接続世帯数の増加分約30世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月）	・接続率95.04％ 参考：１０月から１２月末までに、接続により増となった使用料約3万円（〔接続世帯数の増加分約5世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月）	・接続率95.21％ 参考：１月から３月末までに、接続により増となった使用料約11万円（〔接続世帯数の増加分約１８世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月）		
	実施内容		今年度供用開始対象者及び、供用開始済み区域内の未接続者を対象とした戸別訪問による接続促進。第２次接続促進家屋（再訪問等）に係る事前資料の作成。	第２次接続促進家屋（再訪問等）に係る事前資料の作成。【せいかつと水環境展】での啓発活動（8月29～31日）	第２次接続促進家屋（再訪問等）に係る事前資料の作成。【産業まつり】での啓発活動	第２次接続促進家屋（再訪問、集合住宅）に係る事前資料の作成。供用開始後1年及び3年経過家屋所有者への接続促進通知の発送。		
	その他取り組み事項等		○下水道接続促進啓発事業の実施「せいかつと水環境展」や「産業まつり」での啓発活動。 ○建築確認に伴う情報を基に現場（建築状況）確認を行い、排水設備申請の漏れを防いだ。					
	今後の課題		排水設備工事困難未接続者に対する促進の方法（金銭的理由により工事が出来ない、建物の老朽化が原因で積極的に工事に取り組めない）					
	単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		１１９万円の増	（算出根拠） 平成２５年度の接続世帯数の増加分に使用月数及び使用料の平均値として２千円を乗じたもの 【参考：下水道使用料収入額における平成２４年度決算額(531,106,714円)と平成２５年度決算見込額(605,242,958円)との比較では、約7,414万円の増】				

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	年度実績	進捗状況
26年度	スケジュール	目標	集合住宅を対象とした家主への戸別訪問と第二次接続促進家屋（再訪問）による接続促進を行う。	集合住宅を対象とした家主への戸別訪問と第二次接続促進家屋（再訪問）による接続促進を行う。	集合住宅を対象とした家主への戸別訪問と第二次接続促進家屋（再訪問）による接続促進を行う。	集合住宅を対象とした家主への戸別訪問と第二次接続促進家屋（再訪問）による接続促進を行う。	接続率95.49％（戸別訪問による接続件数は25件）	■ 予定以上 □ 予定どおり □ 遅れ
			《前年度接続率（95.21％）の維持・向上を目指して取り組むものとする。》					
		実績	・接続率95.34％ 参考：４月から６月末までに、接続により増となった使用料約24万円（〔接続世帯数の増加分約40世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・16件の戸別訪問を行った結果、接続された件数9件	・接続率95.46％ 参考：７月から９月末までに、接続により増となった使用料約5万4千円（〔接続世帯数の増加分約9世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・2つの集合住宅（16件分）の所有者に対し戸別訪問を行った結果、接続された件数16件	・接続率95.49％ 参考：１０月から１２月末までに、接続により増となった使用料約19万8千円（〔接続世帯数の増加分約33世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月）	・接続率95.49％ 参考：１月から３月末までに、接続により増となった使用料約24万円（〔接続世帯数の増加分約40世帯/月〕×〔１世帯当たり平均使用料約2千円/月〕×3ヶ月） ・1件（集合住宅）の戸別訪問を実施		
	実施内容		今年度供用開始対象者を対象とした戸別訪問による接続促進。	第２次接続促進家屋（集合住宅）への接続促進。	第２次接続促進家屋（集合住宅）への接続促進。	供用開始後１年及び３年経過家屋所有者へ接続促進通知の発送。		
	その他取り組み事項等		○下水道接続促進啓発事業の実施。「産業まつり」での啓発活動。 ○建築確認に伴う情報を基に現場（建築状況）確認を行い、排水設備申請の漏れを防いだ。					
	単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		１７６万円の増	（算出根拠） 平成２６年度の接続世帯数の増加分に使用月数及び使用料の平均値として２千円を乗じたもの 【参考：下水道使用料収入額における平成２５年度決算額(605,242,958円)と平成２６年度決算相当見込額(639,226,595円)との比較では、約3,398万円の増】 （平成２６年度決算相当見込額は、平成２７年度から公営企業となったことに伴い、旧官公庁会計方式に則り算出したもの）				